

「女子プロリーグに関する調査」 結果報告書【抜粋】

公益社団法人 日本女子プロサッカーリーグ

2021.1.26



はじめに — Yogibo WEリーグ 来場者数

- ・全10節までの観客総数は計85,771名、1試合平均1,715名。
- ・1試合最多観客数は第9節浦和vsマイ仙台@埼玉の4,509名。
- ・クラブ別の観客総数最多はI神戸の13,278名、次いで浦和の12,823名。

節	マイ仙台	浦和	大宮V	EL埼玉	千葉L	東京NB	N相模原	AC長野	新潟L	I神戸	S広島R	合計	平均
1	9/12 vsN相模原			9/12 vsS広島R		9/12 vs浦和			9/12 vsAC長野	9/12 vs大宮V		11,104	2,221
	1,741			1,390		2,427			1,423	4,123			
2		9/20 vsN相模原	9/20 vs新潟L		9/20 vsEL埼玉			9/18 vs東京NB			9/18 vsマイ仙台	14,248	2,850
		3,256	3,419		3,463			1,957		2,153			
3	9/26 vs大宮V					9/25 vsS広島R	9/26 vsAC長野		9/26 vsEL埼玉	9/26 vs千葉L		7,114	1,423
	1,103					1,720	1,900		1,004	1,387			
4			10/2 vs浦和	10/2 vsマイ仙台	10/2 vs東京NB			10/2 vsI神戸			10/2 vs新潟L	8,152	1,630
			3,364	741	1,281			1,688		1,078			
5	10/9 vs千葉L	10/10 vsAC長野	10/10 vsS広島R				10/10 vsEL埼玉			10/10 vs東京NB		7,294	1,459
	1,071	1,621	1,526				704			2,372			
6		10/16 vsS広島R				10/16 vsEL埼玉		10/16 vs千葉L	10/17 vsマイ仙台	10/17 vsN相模原		6,813	1,363
		1,591				1,405		1,140	814	1,863			
7			10/31 vsAC長野	10/30 vsI神戸	10/31 vs浦和	10/31 vs新潟L					10/31 vsN相模原	7,156	1,431
			1,399	953	2,397	1,245					1,162		
8	11/6 vs東京NB	11/7 vsI神戸		11/7 vsAC長野			11/6 vs大宮V		11/6 vs千葉L			4,916	983
	810	1,846		705			714		841				
9		11/13 vsマイ仙台	11/13 vsEL埼玉		11/14 vsN相模原			11/14 vsS広島R		11/14 vs新潟L		12,402	2,480
		4,509	1,959		1,170			1,231		3,533			
10	11/21 vsI神戸			11/20 vs浦和		11/20 vs大宮V	11/20 vs新潟L				11/20 vs千葉L	6,572	1,314
	1,362			1,947		1,967	446			850			
合計	6,087	12,823	11,667	5,736	8,311	8,764	3,764	6,016	4,082	13,278	5,243	85,771	
平均	1,217	2,565	2,333	1,147	2,078	1,753	941	1,504	1,021	2,656	1,311	8,577	1,715

調査概要

- 調査目的 : 2021年9月にWEリーグが開幕した。そこで、観戦実態の把握および前回調査時（2020年9月）との女子サッカー/WEリーグ認知度の比較をおこなう。
- 調査実施機関 : 株式会社マクロミル
- 調査対象者 : マクロミルモニタ 15～69歳の男女
●女子サッカーに対して興味がある または WEリーグの観戦意向がある または 流行に敏感・イベントによく出かける方
- 調査地域 : 全国
- 調査方法 : インターネットリサーチ
- 調査時期 : 【事前調査】 2021年10月28日（木）～ 10月31日（日）
【本調査】 2021年11月1日（水）～11月2日（火）
- 有効回答数 : 【事前調査】 10,000サンプル
【本調査】 4,152サンプル

調査結果の要約



WEリーグについて

- WEリーグの認知率は、**26%**。前回に比べて+10ptで、**認知が拡大されている**。観戦意向や好意度は前回と同水準。
- WEリーグ認知者における、**WEアクションの認知率は半数**。男女若年層に知られている。

▶ 認知率が拡大した一方で、観戦意向や好意度は前回と同水準。認知の拡大は順調であるため、次のフェーズである興味・関心の醸成を狙いたい。観戦意向や好意度が高いのは、男女ともに10-20代の若年層。男性若年層は、性別は異なっているものの、「女性活躍推進」といった内容に共感を示している割合が高く、若年層へのアプローチは、社会問題文脈でも興味を示しそう。



女子サッカーについて

- 女子サッカーの試合観戦経験は、**36%**。前回に比べて微増した。
半年に1回以上の観戦は43%で前回と比べて減少傾向にある。（他競技も同様の傾向）
- 一方で、観戦意向は前回調査時よりも高まっており、特に**TV・インターネットで観戦を行いたい方が**増えている。
- 女子サッカーのイメージは、「明るい」「ひたむき」「結束・団結している」。
「特定の選手が有名」「実力がある」イメージが前回に比べて減少傾向。

▶ 半年に1回以上の観戦は前回調査時に比べて減少している。（コロナ禍での外出自粛が原因の一つと考えられる。）
一方で、観戦意向は高まっており、関心が高い状態である。特に、オフラインよりオンラインでの観戦意向者が高い。会場へのアクセスを考えずに全国各地在住の方がターゲットとなる。

▶ 女子サッカーのイメージとして、「特定の選手が有名」といったスコアが減少傾向であり、女子サッカーの非魅力点でも同様の項目があがる。そのため、目玉となる（スター）選手が不在であると感じられている。

WEリーグの浸透状況

WEリーグの認知は26%。前回に比べて+10ptの大幅増加。

WEリーグの観戦意向は18%。女性活躍推進に対しては3割が共感しており、前回と同水準。

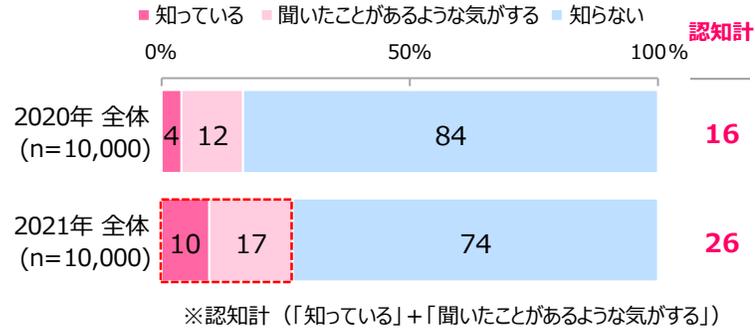
- WEリーグに対する興味は2割弱。女性活躍推進に対して、性年代別でみると、男女ともに10代のスコアが高く、前回と同水準。
- 観戦意向を性年代別でみると、おおむね女性より男性の意向が高いが、10代は男女ともに3割弱にのぼり性別間の違いはあまり生じていないことが特徴。

※色付け基準は2021年全体 n=30以上の場合

浸透状況 (SQ5)

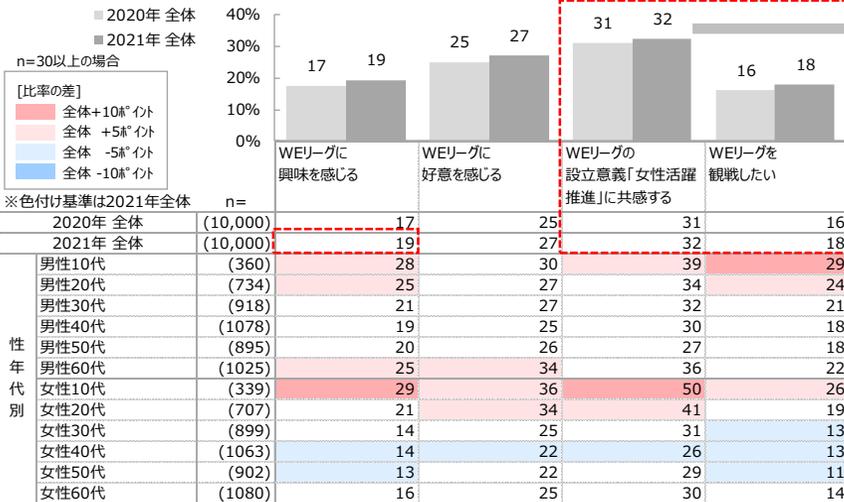
(本調査対象者における)
WEリーグの観戦経験率は20%

※SCR全体ベース



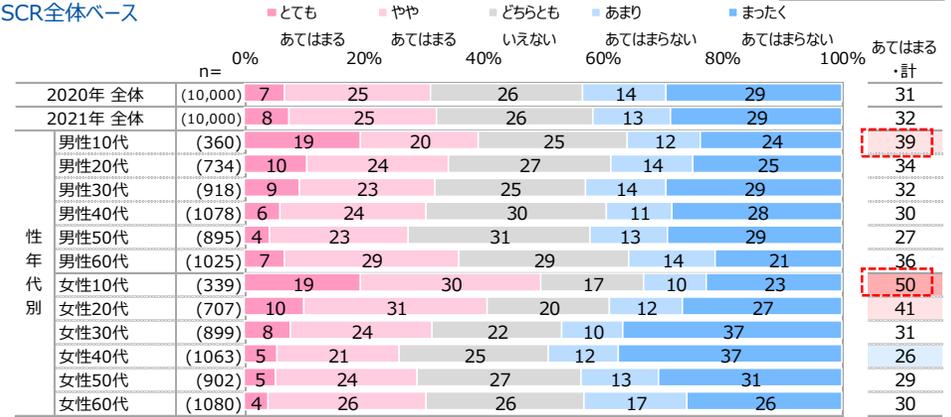
浸透状況 (SQ6)

※SCR全体ベース



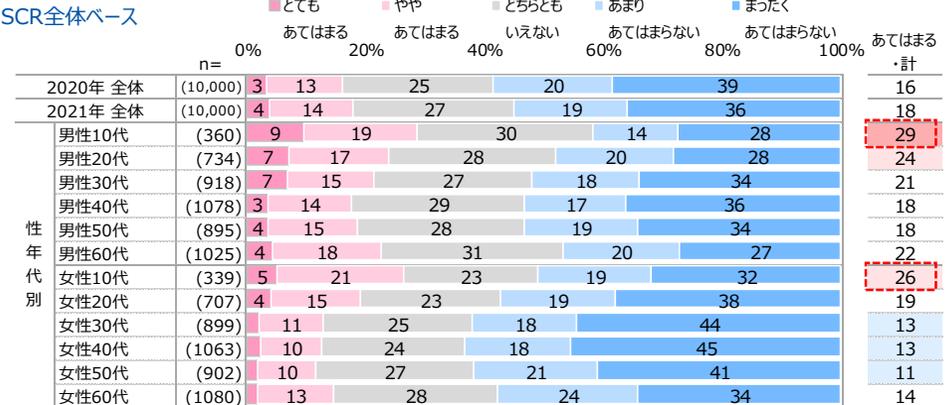
女性活躍推進への共感-性年代- (SQ6S3)

※SCR全体ベース



観戦意向-性年代- (SQ6S4)

※SCR全体ベース



WEリーグの浸透状況 > セグメント別／都道府県別

観戦意向がある層は、前回に比べて認知度が大幅UP。クラブチームがある都道府県では、10-30ptの大幅伸長。

- 観戦意向がないセグメントの中では、観戦頻度中の認知度が上昇している。
- 都道府県別では、特に宮城県・長野県で認知が拡大している。

浸透状況 (SQ5)

※SCR全体ベース

		2020年	n=	認知計	差分
全体		2020年	(10,000)	16.5	+10.0
		2021年	(10,000)	26.4	
セグメント別	観戦意向あり×観戦頻度高	2020年	(281)	77.2	+5.6
		2021年	(291)	82.8	
	観戦意向あり×観戦頻度中	2020年	(335)	52.5	+12.1
		2021年	(430)	64.7	
	観戦意向あり×観戦頻度低	2020年	(125)	40.0	+15.6
		2021年	(171)	55.6	
	観戦意向あり×2年以内観戦経験なし	2020年	(344)	36.9	+17.7
		2021年	(269)	54.6	
	観戦意向あり×観戦経験なし	2020年	(524)	30.7	+9.4
		2021年	(628)	40.1	
観戦意向なし×観戦頻度高	2020年	(63)	47.6	+3.2	
	2021年	(65)	50.8		
観戦意向なし×観戦頻度中	2020年	(136)	16.9	+22.0	
	2021年	(211)	38.9		
観戦意向なし×観戦頻度低	2020年	(141)	15.6	+7.9	
	2021年	(268)	23.5		
観戦意向なし×2年以内観戦経験なし	2020年	(791)	9.5	+6.4	
	2021年	(685)	15.9		
観戦意向なし×観戦経験なし	2020年	(4,718)	4.4	+4.3	
	2021年	(4,276)	8.7		

		2020年	n=	認知計	差分
全体		2020年	(10,000)	16.5	+9.9
		2021年	(10,000)	26.4	
都道府県別	宮城県	2020年	(205)	18.0	+22.1
		2021年	(192)	40.1	
	埼玉県	2020年	(532)	17.7	+11.0
		2021年	(565)	28.7	
	千葉県	2020年	(481)	15.4	+10.3
		2021年	(471)	25.7	
	東京都	2020年	(1,299)	15.6	+9.9
		2021年	(1,276)	25.5	
	神奈川県	2020年	(774)	15.4	+13.2
		2021年	(775)	28.6	
新潟県	2020年	(143)	18.9	+17.9	
	2021年	(163)	36.8		
長野県	2020年	(135)	11.9	+27.1	
	2021年	(146)	39.0		
兵庫県	2020年	(418)	13.6	+12.2	
	2021年	(427)	25.8		
広島県	2020年	(239)	15.5	+17.6	
	2021年	(239)	33.1		

※±10pt以上に色付け
 ※差分（2021年 - 2020年）（pt）

Thank you.

•WE LEAGUE